

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	選択
担当教員			
永井 正幸, 中尾 かつ江, 活田 真理, 堅田 京子, 川勝 素子, 木村 直美, 永井 淳子, 門田 成夫, 山岡 真弓, 青谷 理子, 安本 雅子			
金1, 金2			
添付ファイル			

科目の概要	子ども達の心に伝わる音楽表現方法について考察し、音楽表現で欠かせない分野である弾き歌いを中心に授業を行う。発声から歌詞表現、ピアノパートとのバランスなど弾き歌いの基礎を教授、曲想表現力の向上を目的に授業を展開する。
授業の内容	<p>第1回 本科目の説明、歌声の発声練習、弾き歌い学習曲の譜読み 授業の進め方、学習目標の説明</p> <p>第2回 弾き歌い学習曲(遠くに届く話し声、歌声とは)、ピアノパートの表現について ちょうちょう、むすんでひらいて、おべんとう、線路は続くよどこまでも、ピクニック、山の音楽家、おつかいありさん、ジングルベル、ドレミの歌、あくしゅでこんにちは、手をたたきましょう、ちゅーりっぷ、幸せなら手をたたこう等の楽曲から学生の進度に合わせた楽曲を選択、譜読みを進める。</p> <p>第3回 弾き歌い学習曲(生活の歌・歌詞表現の練習) ちょうちょう、むすんでひらいて、おべんとう、線路は続くよどこまでも、ピクニック、山の音楽家、おつかいありさん、ジングルベル、ドレミの歌、あくしゅでこんにちは、手をたたきましょう、ちゅーりっぷ、幸せなら手をたたこう等の楽曲から学生の進度に合わせた楽曲を選択、譜読みと共に歌詞表現を考察する。</p> <p>第4回 弾き歌い学習曲(生活の歌・リズムの表現学習) 選択された弾き歌い楽曲の効果的なリズム表現について学ぶ。</p> <p>第5回 弾き歌い学習曲(生活の歌を含めた複数曲譜読み) 「おべんとう」などの生活の歌やその他の弾き歌い学習曲のレパートリーを増やすために、複数曲の譜読みを行う。</p> <p>第6回 弾き歌い学習曲(歌とピアノのバランスについて) 弾き歌い学習曲における歌唱とピアノの音量や表現バランスについて学ぶ。</p> <p>第7回 弾き歌い学習曲(歌詞と演奏速度について) 弾き歌い楽曲の曲想に合った演奏速度の設定や、歌詞の発音について学ぶ。</p> <p>第8回 弾き歌い学習曲(曲想表現) 演奏技術・歌唱ともにバランスのとれた表現となるよう、楽曲理解を深める。</p> <p>第9回 聞こえやすい発声による歌唱練習、実技試験曲の選択 ちょうちょう、むすんでひらいて、線路は続くよどこまでも、ピクニック、山の音楽家、おつかいありさん、ジングルベル、ドレミの歌、あくしゅでこんにちは、手をたたきましょう、ちゅーりっぷ、幸せなら手をたたこう等の楽曲から学生の進度に合わせて実技試験曲を選択する。</p> <p>第10回 歌唱に体の動きを加えた表現練習、実技試験曲の譜読み 歌唱練習に、曲想をイメージした体の動きによる表現練習を加える。また、選択された実技試験曲の譜読みを進める。</p> <p>第11回 実技試験曲(練習方法、歌唱練習) 弾き歌い実技試験曲の譜読み・練習方法について学ぶ。</p> <p>第12回 実技試験曲(歌詞表現の練習、リズム表現の練習) 弾き歌い実技試験曲における、歌詞とリズムの融合による効果的な楽曲表現について学ぶ。</p> <p>第13回 実技試験曲(曲想表現) 作曲者の意図を明確に理解し、表現できるための歌唱技術・演奏技術について考察を深める。</p> <p>第14回 実技試験曲(暗譜、通し練習) 弾き歌い試験曲を暗譜で演奏できるようにする。</p> <p>第15回 実技試験曲の仕上げ(暗譜を含む) 弾き歌い試験曲の歌唱表現・演奏表現を確立させ、暗譜で演奏できるようにする。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽基礎を学びながら、聞きやすい声・伝わりやすい言葉表現することができる。 ・ピアノパートをスムーズに演奏できる。
授業の方法	実技形式。90分の授業を歌唱グループとピアノグループに分け、2教室を使用しながら交互に授業を進める。
成績評価の方法	実技試験(定期試験)と平常点による評価。割合は、定期試験80%・平常点20%とする。
教科書・テキスト	「最新・幼児の音楽教育 幼児教育教員・保育士養成のための音楽的表現の指導」井口太 編著 朝日出版社

参考書	特に指定しない。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する楽曲について、事前に譜面に書いてあることを十分に予習した上で授業に臨むこと。 ・楽曲表現を大切に、歌とピアノパートのバランスを意識しながら練習すること。
履修上の留意事項	
オフィスアワー	木曜日2限
担当教員への連絡方法	4-603 研究室 大学メールアドレス：m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp
その他	